

2012年7～9月(実施)  
北関東(茨城・栃木・群馬)への  
避難者の必要な支援に関する  
アンケートの結果概要

2012年12月7日(発表)  
群馬大学社会情報学部  
宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター  
茨城大学地域総合研究所

アンケート対象者  
実施者、名称、配布・回収、公開場所

- 対象:各県内在住広域避難者
- 群馬大学社会情報学部
  - 「東日本大震災避難者アンケート」
  - 680世帯配布、185世帯回収(27%)
  - HP <http://www.gunma-u.ac.jp/>(予定)
- 宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター
  - 「必要な支援についてのアンケート」
  - 1070世帯配布、225世帯回収(21%)
  - HP <http://cmpps.utsunomiya-u.ac.jp/fsp/proj4.htm>
- 茨城大学地域総合研究所
  - 「東日本大震災による茨城県への広域避難者アンケート」
  - 1710世帯配布、587世帯回収(35.1%\*姓名不明回答は除数に含まず)
  - 茨城大学地域総合研究所
  - HP <http://irs.reg.ibaraki.ac.jp/>

質問事項

「避難者の必要な支援」共通項目など

- 群馬12項目、栃木13項目、茨城15項目
- 共通項目
  - 高速道路の無料化など交通費の助成
  - 仮設住宅延長・転居
  - 内部被ばく検査や甲状腺検査など放射線の健康影響に関する検査
  - 自主避難者に対する支援、損害賠償情報・支援
  - 高齢者・要介護者・障害者などの支援、就職支援
  - 情報
    - 医療、周辺環境や食品の放射線量の情報公開、子育て関連、除染・復興関連
  - 避難者交流会

多くの避難者の必要性が高い支援

- 高速道路の無料化など、避難元と避難先を行き来するための交通費の助成
  - 茨城で92%、栃木で91%、群馬で87%の避難者にとって必要性が高い
    - 「高速道路に関して自主避難の家庭も無料にしてほしい。家族間の往來の回数が減り、子供が父親不在の状態で不安になっています。私自身も、経済的に大変なので、せめて、元の自休間の高速道路だけでも無料にしてほしいです。」(栃木への避難者の声)
  - 3県の乳幼児世帯の間でも、群馬で98%、栃木で96%、茨城で95%の避難者にとって必要性が高い
- 現在住んでいる仮設住宅(借り上げ住宅)の延長・長期化
  - 栃木で85%、茨城で78%の避難者にとって必要度が高い  
(2県のみで質問)
    - 「福島市の除染も進んでおらず、帰れそうにも無いのに借上げの住宅期間が終了してしまうのはとても困ってしまいます。」(栃木への避難者の声)
    - 「現在は2年間家賃が無料だったが、2年後まだこちらで住もうと思ったときに、今の収入でやっていけるのかどうか不安。」(茨城への避難者の声)

未就学児世帯の必要性が高い支援

- 内部被ばく検査や甲状腺検査など、放射線の健康影響に関する検査の実施、健康相談の受付
  - 交通費の助成に次いで、栃木では未就学児世帯の97%、茨城では89%、群馬では88%にとって必要性が高い
    - 「避難先でも内部被ばくなどの検査などができるようにしてほしい。」(群馬県への避難者)
- 自主避難者に対する支援
  - 回答者の大多数が自主避難者ではないにもかかわらず、重要な支援と認識されている
    - 栃木、群馬では86%、茨城では83%の乳幼児世帯が重要な課題
      - 「自主避難者に対する避難の強化、子どもの健康の不安、将来的な子どもの体に対する検査を強化(してもらえる様になってほしい)※まだまだあります。心配事がありすぎてきりがない。書ききれません。」(群馬県への避難者)

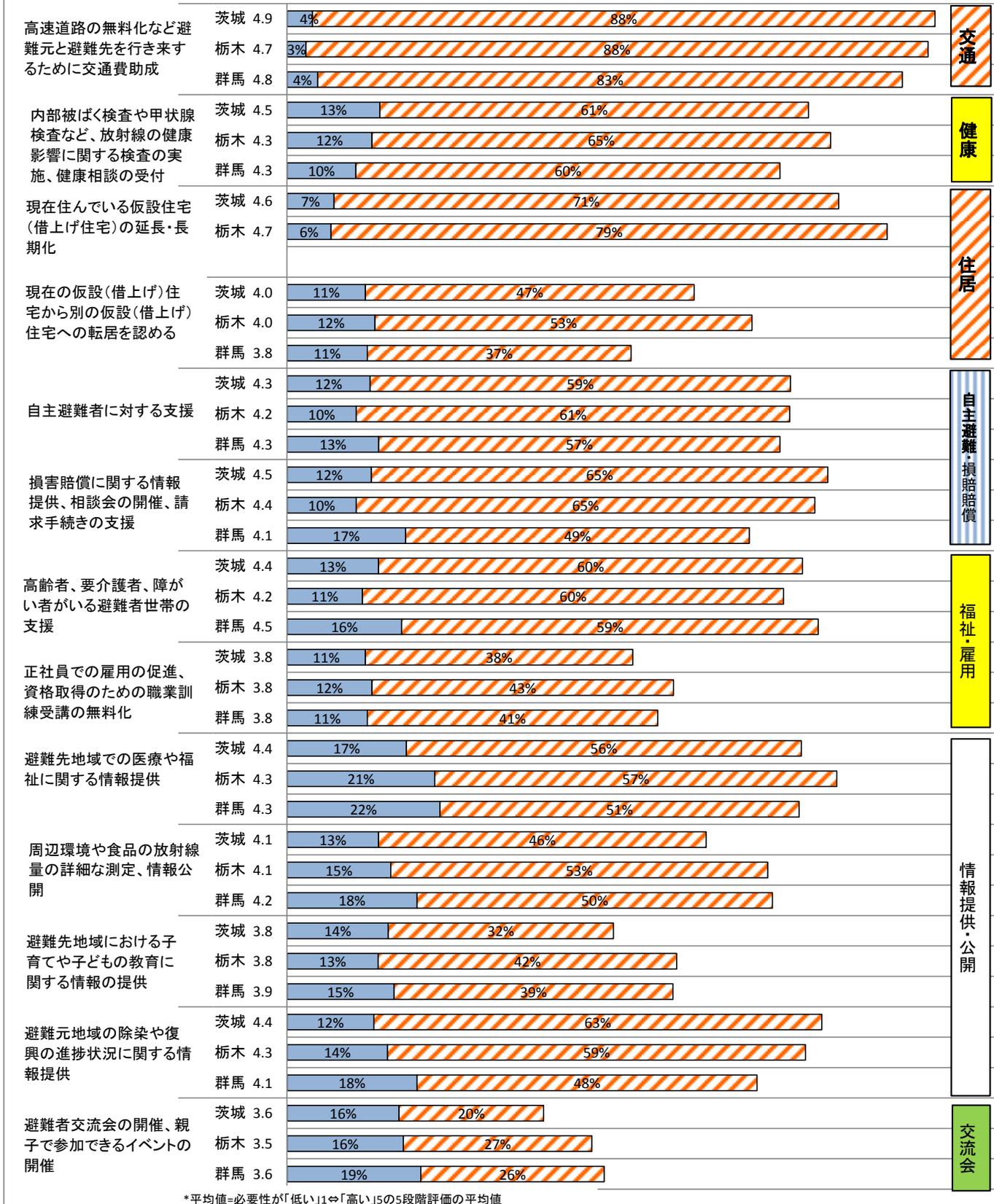
切実な声の数々(一部)

- 「何もかも不安だらけで毎日を送っています。地元に残っている両親のこと、家のローンのこと、今後の生活の事(見通しが全くない...)子育ての事...。こんな事がなかったら、今頃は両親や知人、友人に囲まれて生活できていたんだろうなと思うと、とてもやりきれない気持ちになります。ガンバる毎日に本当に疲れました。」(群馬への避難者)
- 「子どもたちは現在不安障害になって治療しています。毎日が不安。」(茨城への避難者)
- 「車イスの子が高校受験をひかえており、非常に不安である。」(栃木への避難者)
- 「福島県内で同じように放射線を浴びてきた子供なのに住民票を移してきたことよって、大きな差がつかうのは納得できない。」(茨城への避難者)
- 「とにかく、福島は放射能に対する感じ方、考え方が甘すぎる。娘は二次検査といわれたのに、今だに検査日程の通知すらこない、適当、いいかげんすぎる。国がもっとしっかりしてほしい。わが家は震災で避難になるよっています。賠償なんとかしてください。家のローンもあるのに、私と子供は福島にはもう住みたくない。」(群馬県への避難者)
- 「これから子どもが生まれるというのに、家族と一緒に住めない。」(茨城への避難者)

## 北関東への避難者が要望する支援

(茨城587世帯 栃木225世帯 群馬185世帯)

\*平均値 □ 必要性が高い □ 必要性が非常に高い

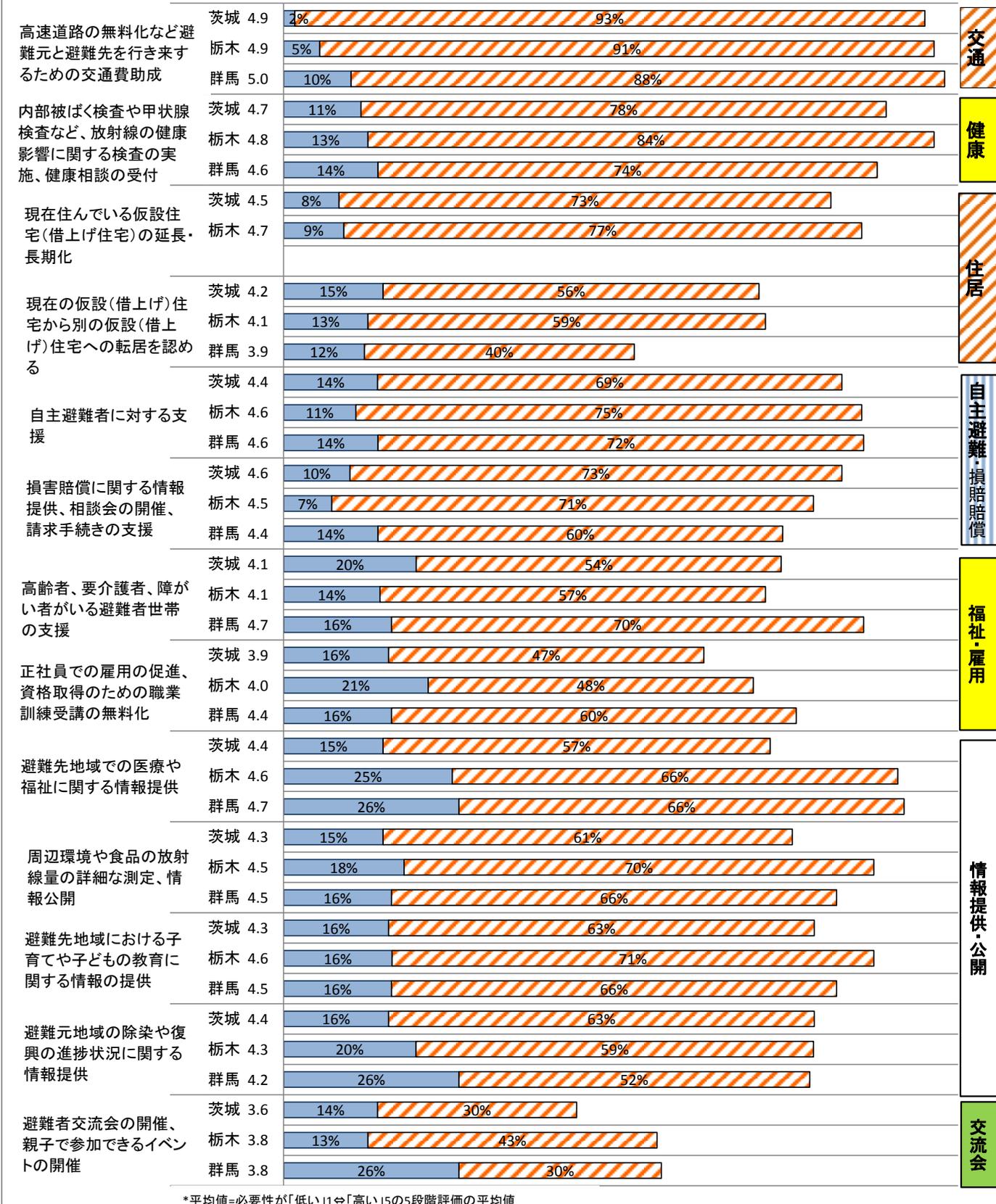


\*平均値=必要性が「低い」1⇔「高い」5の5段階評価の平均値

## 北関東への避難者のうち未就学児世帯が要望する支援

(茨城122世帯 栃木56世帯 群馬50世帯)

\*平均値 ■ 必要性が高い □ 必要性が非常に高い



\*平均値=必要性が「低い」1⇔「高い」5の5段階評価の平均値